

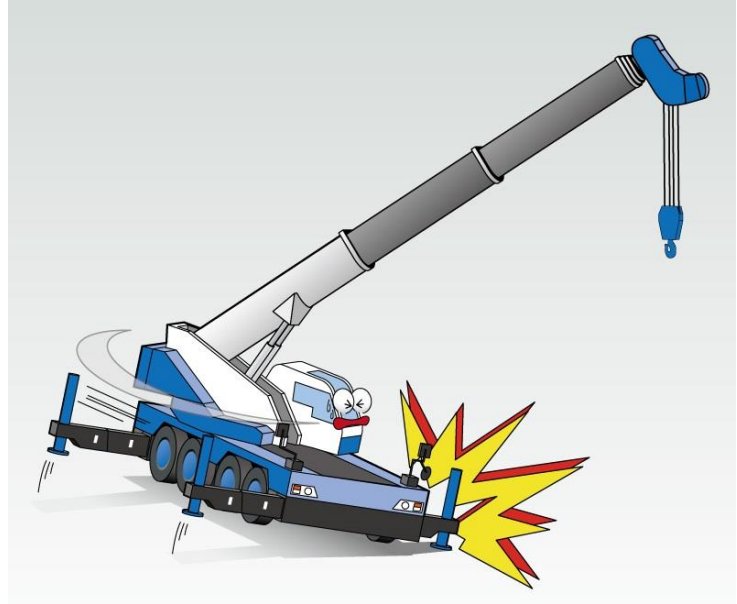
事故事例

構内移動中の誤操作による転倒事故

ラフテレーンクレーン

事故発生状況

現場構内で走行移動中、クレーンの旋回レバーを無意識に操作してしまい、クレーンが旋回して転倒した。
また、旋回ブレーキスイッチを ON にしていなかった。



原因

- ・構内移動中、誤って旋回操作をしたため。
- ・移動前に旋回ブレーキスイッチを ON にしていなかったため。

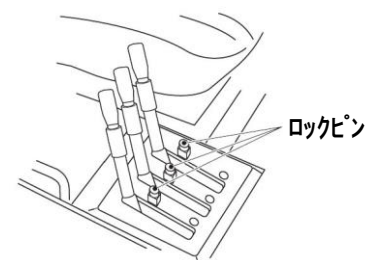
対策

- ・移動前は、旋回ブレーキスイッチ等の状態を十分に確認する。
- ・誤ってレバー操作しないようにロックピンを入れる。

○構内移動時は、以下の状態を確認する。

項目	状態
PTO スイッチ	「ON」
サスペンション	全縮小
AML アウトリガ状態設定	「アウトリガなし(走行時)」
AML ブーム状態設定	「ブーム/シングルトップ/ジブ」
旋回ブレーキ	「ON」
駆動モード	「4WD(6WD)低速走行」
シフトスイッチ	「1」
走行速度	1.6km/h 以下(微速)

○操作レバー部のロックピンを入れる。



- ・傾斜地、軟弱地では十分注意して走行してください。
- ・急発進、急停止、急ハンドルなどの急激な操作はしないでください。
- ・構内移動時は取扱説明書の「アウトリガなし(走行時)」「ジブ操作(ジブを装着しての構内移動)」を参照してください。